

12月定例会

12月定例会は、12月7日から20日までの14日間の会期で開かれました。開会日には鈴木和夫市長より提案理由の説明がありました。一般質問では14人の議員がそれぞれ市の考えを質しました。

市長提出議案31件で、専決処分、条例案、単行議案、補正予算案、人事案件を審議し、いずれも原案のとおり承認、可決、同意されました。

このページでは、一部の提出議案の内容について、解説や説明をしたいと思います。審議内容については、6～7ページをご覧ください。

議案ピックアップ

- ◆市長提出議案…………… 31件
(うち人事案件7件)
- ◆陳情…………… 2件
- ◆議員選出議案…………… 1件

全ての議案の審査結果は市議会ホームページをご覧ください。



● 議案第70号 専決処分の承認を求めることについて

ふるさと納税の寄附が予算額を上回り、寄附者への返礼等に係る予算措置が必要になったことから、令和5年度白河市一般会計補正予算(第4号)を専決処分したので、議会に報告し、承認を求めようとするものです。

・歳入 (ふるさと納税見込み額)

当初予算額1億7千万円 補正額4億2千万円 合計5億9千万円

・歳出 2億480万4千円 返礼品費、郵送料、各種手数料

● 議案第71号 白河市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令の一部改正に伴い、世帯に出産する予定の被保険者又は出産した被保険者がある場合においては、当該世帯の世帯主に対して賦課する所得割額及び被保険者均等割額を免除するものです。

■免除期間 単胎妊娠 産前1か月・出産予定月・産後2か月

多胎妊娠 産前3か月・出産予定月・産後2か月

※出産予定月→既に出産されている方は出産月

■免除額 ・出産被保険者に係る所得割額×1/1.2×産前産後期間の月数

・出産被保険者に係る均等割額×1/1.2×産前産後期間の月数



● 議案第73号 白河市営住宅条例の一部を改正する条例

入居率の低い「外面市営住宅及び石久保市営住宅」について、住宅セーフティネットの役割を維持しつつ、入居機会の拡大を図るものです。

・入居資格のうち、同居親族案件の例外規定を新たに設ける。

外面と石久保市営住宅は18歳から59歳の単身入居を可能とする。

● 議案第74号 白河市障害児就学指導審議会条例の一部を改正する条例

現在は、児童及び生徒の就学について審議しているが、そのみならず機能を拡充し、早期からの教育相談・支援やその後の一貫した支援についても助言を行うという観点から、「白河市障害児就学指導審議会」から「白河市教育支援委員会」に名称を変更するため、条例の改正を行うものです。

- ・委員について、「医師の資格を有する者」、「学識経験を有する者」、「関係教育機関の職員」、「児童福祉施設等の職員」、「教育委員会が必要と認める者」に改めるものです。

● 議案第80号 令和5年度白河市一般会計補正予算（第5号）の主な内容

■ 放課後児童クラブ運営費

定員数を上回る登録者が見込まれる白河第二小学校の児童クラブについて、来年度から60人程度受け入れを増やせるよう新たな施設整備を行うものです。

・ 事業内容

近隣の賃貸スペースを借り上げるための賃借料やトイレ改修、電話開通、備品購入費等を計上。

- ・ 財源 国1/3、県1/3、市1/3

一般会計補正額（議案第5号・第6号）合計 10億1,254万4千円

陳情と意見書

※詳細は13ページをご覧ください。

陳情

陳情第2号 すべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める陳情

〈陳情者〉福島県医療労働組合連合会 執行委員長 高橋 勝行

本会議の採決 賛成18人・反対4人により賛成多数で採択

陳情第3号 健康保険証廃止の中止を求める陳情

〈陳情者〉福島県社会保障推進協議会 会長 佐藤 和久

賛成討論 深谷 弘議員 反対討論 室井伸一議員

本会議の採決 賛成7人・反対15人により反対多数で不採択

意見書

意見書案第6号 国民の命と健康を守るため、政府の責任ですべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める意見書

〈提出者〉白河市市議会議員 戸倉 宏一

本会議の採決 賛成18人・反対4人により賛成多数で可決

人事案件

議案7件の人事案について、いずれも全会一致で同意

白河市教育委員会委員

任期
4年

瀧澤 学氏（大信町屋）【再任】

白河市公平委員会委員

任期
4年

菟川 彌生氏（久田野）【再任】

白河市固定資産評価審査委員会委員

任期
3年

菊地 正秋氏（東下野出島）【再任】

田代 行孝氏（みさか）【新任】

根本 庸一氏（表郷番沢）【再任】

須藤 政子氏（大信増見）【再任】

矢田部 朗氏（東千田）【新任】